

令和5年度 第1回深谷市子ども・子育て会議  
議事要旨

日 時：令和5年7月28日（金）午前10時00分～午前11時30分

場 所：深谷市役所 大会議室

出席者：柴崎 知亜紀委員、牧野 祥子委員、鈴木 浩史委員、荒井 克明委員、押野見 孝道委員、  
穂山 明美委員、神庭 ひろ子委員、山崎 幸子委員、榊田 摩琴委員、奥富 庸一委員、  
戸野倉 和美委員、岡田 真彦委員（12名）

欠席者：橋本 亜希委員、金子 京子委員、斉藤 実委員（3名）

<配布資料>

- ・資料1 令和4年度子ども・子育て支援事業計画進行管理表
- ・資料2 深谷市 私立保育園の利用定員減の考え方について
- ・資料3 第3期深谷市子ども・子育て支援事業計画の策定について
- ・別紙1 子ども・子育て支援事業計画及び子ども・子育て会議について
- ・別紙2 深谷市子ども・子育て会議 用語と定義について

開会前に委嘱状交付

－ 1. 開会－

司会（大野課長補佐）

－ 2. 正副会長の選出－

会長には奥富委員、副会長には戸野倉委員が選任された。

－ 3. 議事－

規定により奥富会長が議長となり議事を進行する

（1）第2期深谷市子ども・子育て支援事業計画進捗状況について

（事務局：資料1について説明）

委 員：妊娠健康診査の令和4年度実績値の説明で、妊娠届出者が減少しているという説明があったが、  
これは単に妊娠者が減っているということなのか。

事務局：その通り。国でも妊娠者が減少傾向にあり、深谷市でも同様に減少している。

委 員：妊婦健康診査と乳児家庭全戸訪問事業について、量の見込みと確保の方策の値は一致している  
が、実績値には差が生じている。この理由について教えてほしい。

事務局：まず、量の見込みと確保の方策の値については、計画策定時に出生数を見込んで作成したもの  
である。実績値については、妊娠届出書を提出してから全戸訪問を実施する間に年度を跨ぐこ  
とがある他、転出転入もあるため、実績数で差が生じている。

委員：放課後児童健全育成事業で、令和4年度実績において236人の差異が生じている。どの学年で差異が生じているか、教えてほしい。

事務局：一番大きな差異が生じている学年としては、小学2年生が720人を見込んでいたところ、実績は584人と、136人の差異が生じた。

## (2) 深谷市 私立保育園の利用定員減の考え方について

(事務局：資料2について説明)

委員：保育園の立場から少し補足をしたい。

保育園は、利用定員に基づいた形での運営費で経営されており、利用定員に満たない分、恒常的に赤字となることになる。市全体でのニーズが高まる中、受け入れ人数を減らさないよう、様々な調整を図ったが、保育園の経営努力で改善できる問題でなく、現実的に保育園の経営が困難となることから、定員減ということとなった。

委員：保育士の質に関する審査項目はあるのか。

事務局：保育士の質に関して、審査や条件といったものはない。しかし、法令によって保育士の配置基準が定められており、それに基づいて配置等を行っている。

委員：保育士の質というと、虐待の問題が最近のニュースで取り上げられていることからの質問だと思うので、保育園の立場から補足をしたい。

基本的に子ども達の人権を守るという観点で徹底していることに加え、ニュースが出る度に国や県からの指導を受けて取り組んでいる。

## (3) 第3期深谷市子ども・子育て支援事業計画の策定について

(事務局：資料3について説明)

質問なし

## － 5. その他－

事務局：次回の会議について、第3期子ども・子育て支援事業計画に関する調査業務について、秋頃の開催を予定している。

## － 6. 閉会－

副会長：以上をもって、令和5年度第1回深谷市子ども・子育て会議を終了する。

(以上、終了)